

Takaharu
Tourist
Guidebook

高原町
観光ガイドブック



目次

霧島東神社	・・・	2
天之逆鋒	・・・	4
狭野神社	・・・	6
皇子原神社	・・・	9
史跡マップ	・・・	10
霞神社	・・・	12
高原の神舞	・・・	14
興一桜	・・・	15
祓川湧水	・・・	15
御池	・・・	16
皇子原公園	・・・	18
温泉	・・・	20

高原の神話

高原町は日本の始まりの場所と言われており、高天原（高原町）とは「古事記」の冒頭に登場する天津信の住まう場所とされており、天照大神（アマテラスオオミカミ）の孫瓊杵尊（ニニギノミコト）が高天原から高千穂峰の（天之逆鋒）を目印に天孫降臨したと言われております。

国生み天之逆鋒

神様の中でも最後に登場する「神世七代」（かみよななよ）と呼ばれるイザナギの神とイザナミの神は神の中でも初めて性別を持つ神となり、他の神々から地上の世界を造るように命じられ、二柱の神々は天と地の間にかかっている天の浮き橋に立ち、神々から授

高原町

高原町は畜産の町で、全国的にも評判な「宮崎牛」の一大生産地です。また新鮮な野菜や果物の宝庫でもあり、霧島連山の地中深くから湧き出す温泉は近隣では珍しい炭酸泉を楽しんで頂けます。

海のイメージが強い宮崎県にあって一五〇〇メートルを越す山の麓にある高原町は悠久の歴史と雄大な自然に育まれた水と緑と神話の町です。

霊峰高千穂峰

標高 1574m の霧島連山の一部である高千穂峰の山頂には「天之逆鉾」が突き刺さっております。ミヤマキリシマの群生地でもあり5月中旬には綺麗に咲き誇り観光のスポットになっております。

かった天沼矛（あめのぬぼこ）を地上に突き刺し地上の世界をかき混ぜて垂れた雫により日本の島々が出来たとされております。現の天之逆鉾（あまのさかほこ）は天沼矛を逆さに突き立てた物と言伝えられております。

初代神武天皇

イザナギの神とイザナミの神の国生みから二人はやがて結婚し、後に天照大御神の子孫で後の初代神武天皇である神日本磐余彦天皇（かんやまといわれびこのすめらみこと）といわれびこのすめらみこと）が高原町（狭野地区・皇子原神社）でお生まれになり、幼名の際は狭野尊（さののみこと）と言われており昔は地区の名前を付ける習慣があり皇子原神社が狭野地区と言うことから狭野尊と名付けられたと言われております。

霧島東神社



霧島東神社

霧島連山の霊峰・高千穂峰の東側の山腹、御池（みいけ）を見下ろす所にある、霧島東神社。森の中にある境内は静かで厳かな雰囲気がい、どこか神秘的なパワーに満ちています。霧島六所権現の一つであり、鹿児島県の霧島神宮が「西霧島宮」と言われたのに対し「東霧島宮」と呼ばれていました。

創建は第十代崇神天皇の時代と伝えられ、伊邪那岐命（イザナキノミコト）、伊邪那美命（イザナミノミコト）がご祭神として祀られています。高千穂峰の山頂は霧島東神社の飛地境内であり、頂上にある天孫ニギノミコトが突き立てたとの伝説が残る「天之逆錐」は社宝となっています。



【性空上人】

性空上人が修行をしていると御池から九つの首を持った龍が現れたと言われ、宝玉を神龍から授かったと言われています。宝玉と神龍の鱗は現在社宝として霧島東神社に保管されています。

ACCESS：
宮崎県西諸県郡高原町大字蒲牟田 6437 番地
電話：0984-42-4774



天之逆鉾

霊峰高千穂峰の山頂に突き刺さっており、一八六六年坂本龍馬は日本で初めて新婚旅行を行ったとされており、妻のお龍と霧島を訪れ、二人で天之逆鉾を引き抜いたとの記録が残っています。このことは坂本龍馬の姉の乙女（おとめ）に宛てた書簡にて確認できます。逆鉾にある天狗のような顔を見て二人で大笑いしたそうです。龍馬は逆鉾を気に入ったのか、書簡には詳細に描かれたイラストがつけられています。このころより天逆鉾の存在は広く知れ渡っており、多くの参拝者が現在も訪れています。

- ①天狗信仰…天狗堂（赤と白の建物）は「霧島山大津坊」を唯一祀っている場所。
大津坊より性空上人が斧を授かっている。
- ②神龍泉…霧島には四十八個の池があり、一番小さい池が赤井、一番大きいのが御池とされている。当時錫杖院は煩惱を捨て修行する場であり、修行に専念するため女人禁止とされており、この地に女人が映るとたちまち異変があると伝えられており、赤井の水井戸に訪れた人の女人が映る場面があり「約束が守られていないが大丈夫か？」と言いつづけている。
- ③祓所…11月9日の例大祭の際に、官司達が祓所の結界の中でお祓いを受け清め、本殿で神事を行う。年に10分程度しか使用せずそれ以外は結界を張り入れない。（お祓いの神様、祓戸大神（はらえどのおおかみ）を祀っている。
- ④性空上人開山碑…性空上人が亡くなった5年後に建てられ、数年しか霧島にいなかった性空上人がこの地を出て50年後に建てられていることから、継承者の熱い信仰がうかがえる。
- ⑤夫婦杉（めおとすぎ）…注連縄を張り、結界になっているのでくぐる必要がある（外が人間の世界、内が神様の世界）。平成2年につくられたもの（造成した際に土手に立っていた杉の木）。
- ⑥神門の扉…社紋=輪宝門（りんぼうもん）仏教に見られる車輪型の仏具を図案化したもの。車輪が戦の場所を駆けると、悪魔が退散すると言われている。
- ⑦猿田彦神社…ニニギノミコトが天孫降臨した際に道案内をした神様であり、アマテラスオオミカミより稲穂を授かっており、霧が深くなり降りる道が分からなくなった際にその稲穂のモミをまき、難を逃れたとされる。現在でも山に入る時はモミを山に撒いて払う。
- ⑧扁額…今から約350年前、1666年に島津家19代当主（薩摩藩2代目藩主）島津光久より公寄進された。「霧島の東にいます」と書かれている。
- ⑨門守社…門神・門守と呼ばれ、狛犬と同じく出入口を守る神（楡石窓）くしいわまど（豊石窓）とよいわまどの神様が祀られている。
- ⑩龍柱…300年前のものは龍柱・神様を祀っている箇所のみで権現造（ごんげんつくり）神仏習合でよく見られる様式で仏教の影響を色濃く受け、色鮮やかな彩色の獅子、ほたん、像の彫刻や装飾がなされている。
- ⑪天之鉾御下降記念碑…大正3年山頂の天之逆鉾を夕暮れに大男が祓川に担いで降りてきた。地元では雨乞いの神として祀っていたため次の日にその男が担がせて山頂に返そうとしたら大男はいなくなっていた。神様のご意思で天之逆鉾が村の人と縁を深めたいと下ってきてくださったと考えた村人が2年後に護摩壇の石から記念碑を作り祓川の村に祀っていたが、粗末にすると障りが出ると恐れ神社に移した。



狭野神社

狭野のスギ並木

文禄元年、豊臣秀吉公朝鮮出兵の折に島津義弘公が出陣しましたが、その際当社にて戦勝祈願があげられました。凱旋後には祈願奉賽として重臣の新納忠元公を遣わし境内に杉が植栽され、第一鳥居から社殿まで直線で約一^{きん}あり、直線では日本一長い参道とも言われております。

大正十三年には国の天然記念物に指定を受けており、現在狭野杉は台風の被害などで十本程度しか残っておりませんが、樹齢四百年を超える杉を含め、長い年月をかけて植栽された杉が長い参道沿いに聳え神秘的な空間を感じます。

狭野神社

高原町南西部に鎮座し、霧島神社などと共に「霧島六社権現」のひとつと数えられる狭野神社。今から二四〇〇年ほど前、第五代孝昭（こうしゅう）天皇の時代に神武天皇の生誕地に創建されたと伝えられています。

主祭神である神武天皇の幼名・狭野尊（さののみこと）は地名の狭野が由来。社殿は約一^{きん}離れた皇子原（おうじばる）にありましたが、度重なる霧島山の噴火で焼失後、一六一〇年に現在地に遷座しました。

現在の本殿は、三間社流造りの建築様式で建立され弊殿、拝殿、外拝殿にて構成されています。この社殿は「ご降誕二六〇〇年大祭」に於いて宮崎神宮の旧社殿を明治四十五年に移築したものです。



苗代田祭

苗代田祭は、宮崎県指定無形民俗文化財に指定されており、毎年2月18日に行われている行事です。春に行われる予祝祈願の田遊び神事の一で、別名「ベブガハホ」とも呼ばれています。「ベブ」は牛、「ハホ」は主婦(妊婦)を指します。

南九州では、同様の行事が離島を除いて広く分布しています。いずれの行事も、神社の境内や社殿・広場を田に見立て、作り物の牛を使って田ならし・種蒔き等の模擬田作りをユーモラスに演じるという共通点があります。



御田植祭

狭野神社の御田植祭は、毎年5月16日に行われる狭野神社の春の祭です。

午前10時頃から神事が始まり、その後社殿横の広場で棒踊り、続いて奴踊りが奉納されます。棒・奴踊り共に、社殿の他、狭野神社東側の猿田彦神社・旧神徳院仁王像前・旧神田前、近隣の田の神の前で踊るのが習わしとなっており、五穀豊穡・豊作祈願です。

ACCESS :

宮崎県西諸県郡高原町大字蒲牟田 117

電話：0984-42-1007





水神様



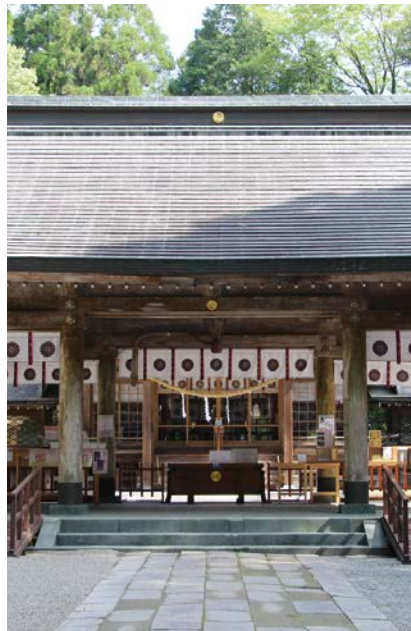
狭野神社 門



御腰掛石



西門守社



狭野神社 本殿



東門守社



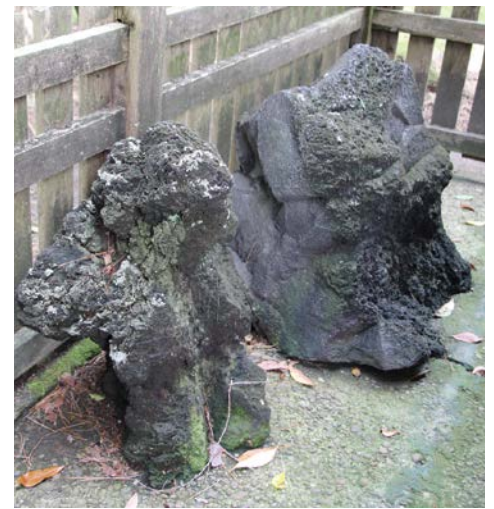
新徳神社



新燃岳噴火乃碑・豊受神社



御神木



生場石

神徳神社・仁王像

神徳神社は、明治の初めに廃寺となった別当寺、「神徳院」から名前を載っています。

村上天皇の代から、神仏混合の時代に千五十年に渡って続いた神徳院ですが、地域がら廃仏毀釈の勢いも凄まじく、騒乱の内に焼失してしまいました。三座あった御本尊の内的一座が運び出され、神徳院の末裔の方によって守られてきました。

狭野神社では令和の御代を奉祝し記念事業として、神徳院を神徳神社として再興することとなりました。令和元年十月に竣工した神徳神社は、以前神徳院の門前にあった仁王像とともに境内駐車場の入口に佇んでおり、この地方では古くから天孫降臨の聖地、高千穂峰を中心とする霧島山を信仰の対象としていました。霧島権現の信仰があった縁故の地には仁王像が残され、狭野神社においても二体の仁王像が残されています。明治三年、廃仏毀釈により神徳院が廃寺となってからは神徳神社の隣に安置されています。享保十九年（1750年）につくられた仁王像は体長六尺とかなり大きなもので、大豆の神様また足腰を癒して下さる神様として親しまれています。

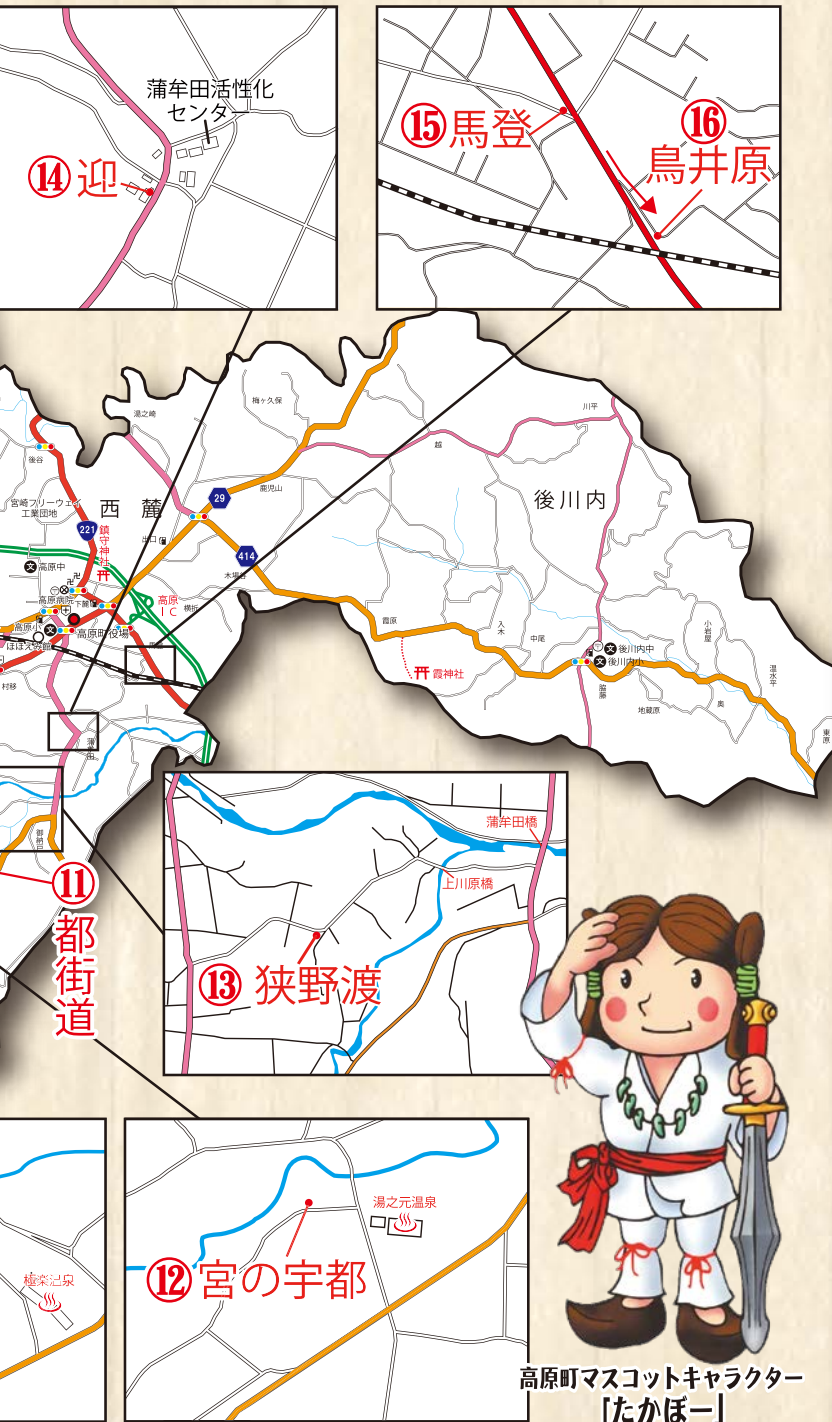


皇子原神社

狭野神社の境外末社である皇子原神社は神武天皇がご誕生された場所と言い伝えられています。狭野神社の元宮にあたります。

ACCESS:
宮崎県西諸県郡高原町大字蒲牟田 117
電話：0984-42-1007

りの史跡めぐり



高原町マスコットキャラクター「たかぼー」

⑩鳥井原 (とりいばる)

高原を離れる神武天皇一行を住民たちが安全を祈りながら見送った所と言われています。



⑪馬登 (まのぼり)

「迎」を過ぎた神武天皇一行が坂を登る際に初めて馬に乗られた所と言われています。



⑫迎 (むかえ)

「狭野渡」を越えて東へ向かう神武天皇一行を、地元の人々が出迎えて見送った所と言われています。



⑬狭野渡 (さのわたし)

神武天皇が「高千穂宮」を出発して東へ向かう際に、最初に船を使って川を渡った場所と言われています。



⑭宮の宇都 (みやのうと)

神武天皇の父であるウガヤフキアエズノミコトの皇居「高千穂宮」があった所と言われています。江戸時代には社殿などが整備されました。



⑮都街道 (みやこがいどう)

江戸時代の文献にも登場する由緒ある名称です。かつて、宮の宇都にある高千穂宮から皇子原まで通うために使用された道と言われています。



⑯血捨之木 (ちしゃのき)

由来はよくわかりませんが、神武天皇が誕生した際、母のタマヨリヒメが諸物を洗い清めた場所と言われています。



⑰祓原・祓川 (はらいばる・はらいがわ)

祓原は神武天皇が誕生した際に体を祓い清められた場所と伝えられています。また、祓川は祓原から流れ出る小川で、神武天皇がお祓いをする際には、この川の水を汲み使われたと伝えられています。



神武天皇ゆか

①高千穂峰 (たかちほのみね)

ニギノミコトの天孫降臨伝説が残る霊峰です。山頂にはそのことを物語るかのように「天逆鉾(あまのさかほこ)」が立てられています。天逆鉾については諸説ありますが、ニギノミコトが天孫降臨の際に突き刺したものと伝えられています。



②皇子原 (おうじばる)

古くから「神武天皇ご誕生の地」と伝えられており、現在は皇子原公園として整備されています。高原町から遠く宮崎平野まで見渡すことができる高台にあり、日向神話を分かりやすく展示した「神武の館」などがあります。



③産場石 (うべし)

皇子原公園内にある皇子原神社の社殿裏に祀られている石です。神武天皇が誕生した際に使われたと伝えられ、江戸時代の文献にも登場します。この石を触ると安産になると、子宝に恵まれるとも言われています。



④御腰掛石 (おこしかけいし)

皇子原公園内の皇子原神社へと続く石段横にあり、巨木に半分飲みこまれています。この地に生まれたとされる神武天皇が腰掛けられたと言われています。



⑤皇子滝 (おうじだき)

皇子原公園の北側を流れる清流には、いくつも滝があります。その一つが「皇子滝」と呼ばれています。由来は不明ですが、神武天皇が幼少の頃遊んだ場所と言われています。



⑥皇子港 (おうじみなと)

霧島連山最大の火口湖である「御池」。御池にはかつて7つの港がありましたが、その一つが皇子港です。神武天皇が幼少期に水浴びなどよく遊んだ場所と言われ、高千穂峰を正面に望む景勝地として知られています。



⑦狭野神社 (さのじんじゃ)

神武天皇を祀る、県内でも有名な神社です。神武天皇の幼名「狭野尊(さのみこと)」は、この「狭野」に由来していると言われています。参道沿いの杉並木は「狭野杉」と言われ、国の天然記念物に指定されています。毎年12月には狭野神楽が奉納されます。



⑧霧島東神社 (きりしまひがしじんじゃ)

高千穂峰の中腹、御池を一望できる高台にあります。国生み伝説で有名なイザナギノミコト、イザナミノミコトを主祭神としてお祀りしています。高千穂峰の山頂の「天逆鉾」は霧島東神社の社宝です。毎年12月には破川神楽が奉納されます。



高原町マスコットキャラクター「はるちゃん」



霞神社



霞神社

六社権現の使いとされる五色の蛇が住み、その姿をみると幸せになるといわれており、農業や畜産、病氣治療、開運、商売繁盛のご利益があるとされております。

また磐座に生息する野生の白蛇様はおそらく絶滅危惧種であり、神様と同等の扱いですのでもちろん触れてはいけないこととなっております。めったに見る事が出来ず見ると幸せが訪れると言われております。

※白蛇は架空の話ではなく現に見る事が出来ます。





霞神社展望台

霞神社の展望台から見る景色は絶景で週末は観光客で賑わっており、展望台の岩の割れ目を除くと六社権現の使神いとされる白蛇さまが見れることも。



参道階段

霞神社は高台にあるため長い参道の階段を上る必要がありますが参道中腹にできた参拝者休憩所のでゆっくり休む事が出来ます。また参道には老舗のお土産屋や飲食店もあり参道でも楽しめます。

白蛇様

白蛇様はご神殿裏の岩山があり、その岩の割れ目に六社権現の使神とされている白蛇さまの姿を見る事が出来ます。霞神社の御祭神とは別に神様と崇められており、白蛇さまを拝した者は、神縁を得て幸福になるとされ、かつて六社権現参りを行う修験者は霞神社に参拝し白蛇さまの棲息する山頂の岩座を依代として、修行の無事と世の安泰を祈願したと伝えられています。

ACCESS :
宮崎県西諸県郡高原町大字蒲牟田 117
電話 : 0984-42-1007





高原の 神舞

旧薩摩藩で行われていた神楽を神舞といい、江戸時代には旧薩摩藩領であった高原町には霧島六社権現であった霧島東神社と狭野神社が建ち、霧島山岳修験の影響を受けた祓川神楽と狭野神楽をいう二つを総称して「高





與市桜 (エドヒガン)

土地所有者の先祖にちなんで與一（よいち）桜と名付け、有志の方達が「與一桜を守る会」を結成。エドヒガンは普段あまり目に付くところにはありませんので、道路沿いから見られるこのエドヒガンは貴重です。



萩川湧水

神話の名水とも言われる湧き水で、萩川神楽殿の横に水汲み場が設置されており、霧島の麓から湧き出る大量の原水は「九州の美味しい水」にも選ばれるくらいの名水で多くの方が水汲みに訪れます。



【狭野神楽】

狭野神楽は毎年第一土曜日に開催されます。狭野神楽は正式には「伊勢講神楽」呼ばれ五百年以上の歴史があるとされています。
午後七時～翌朝七時頃まで奉納されます。

原の神舞」と呼び平成二十二年には国重要無形民俗文化財に指定されている神舞の歴史は五百年～六百年とも言われており、現在は保存会が守り続けている。



【萩川神楽】

萩川神楽は毎年第二土曜日に開催されます。歴史は約四、五百年前ではないかと伝えられています。真剣を使つた剣の舞が多いのが萩川神楽の特徴であり
午後七時～翌朝七時頃まで奉納されます。

御池

野鳥の森公園

御池周囲の原生林は昭和四十七年に国設の野鳥の森に指定され、遊歩道散策や野鳥も百五十種類以上のバードウォッチングなども楽しめます。

御池

御池は、日本初の国立公園に指定された「霧島国立公園」内にあり、約四六〇〇年前に噴火し、直径約一^{km}、周囲四^{km}、水深は約一〇三^mと日本の火口湖では最も深いといわれています。周囲のうっそうとした原生林と高千穂峰を映す湖面には、ワカサギ、ニジマス、鯉などの魚類も多く、夏は舟遊びやキャンプの若者でにぎわいます。

また皇子港ではカヤック・ボート・ミッシェル・SUPなどアクティビティが充実しており、案内付き遊覧船では御池湖畔を満喫できます。



御池キャンプ村

コテージ・バンガロー、BBQ 棟も完備しており、持ち込みテントも楽しめます。

御池湖畔を眺めながら優雅なひと時を満喫できる自然に囲まれた施設です。

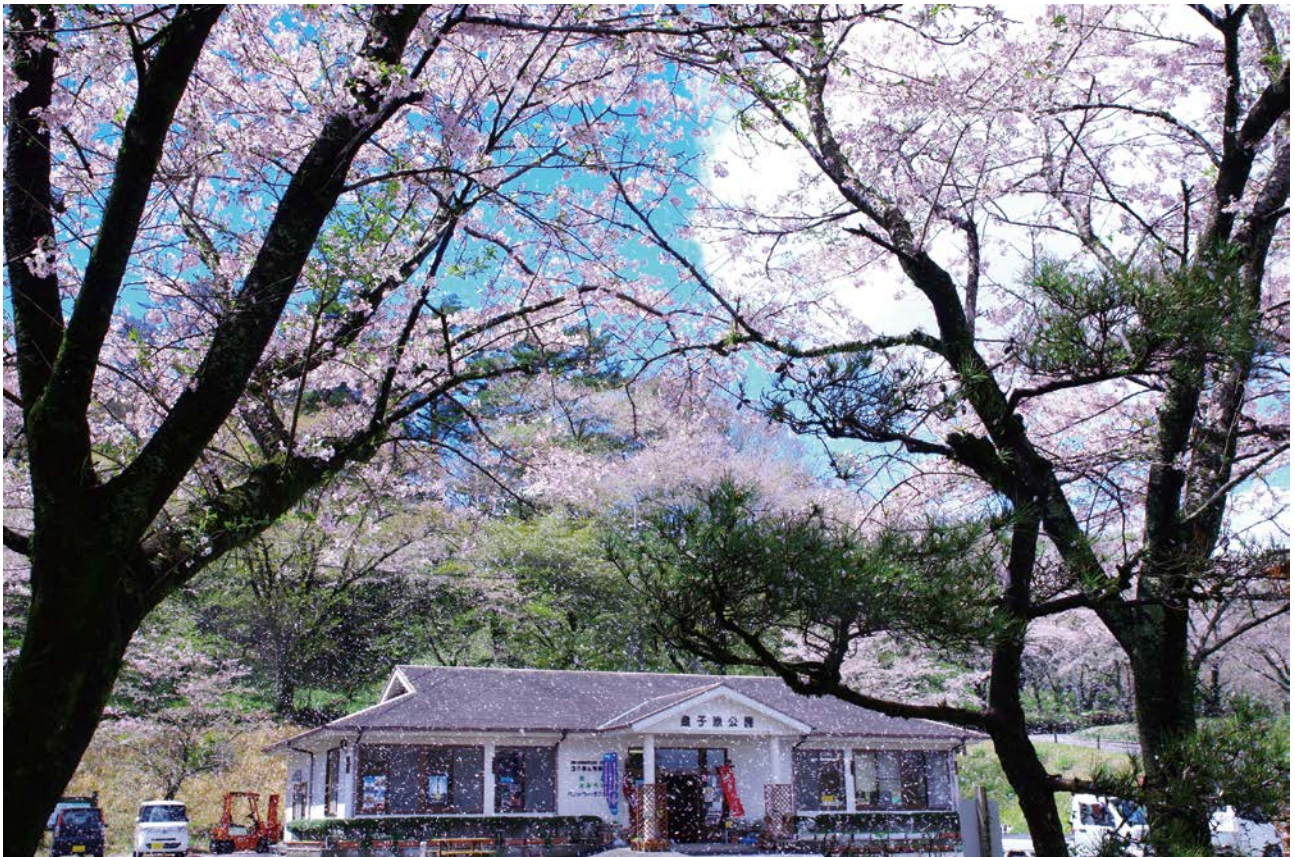


ACCESS :
宮崎県西諸県郡高原町大字蒲牟田 6437 番地
電話 : 0984-42-4774



皇子原公園





皇子原公園

神武天皇幼少時代に生まれ育った場所とされており、「産場石」や「お腰掛石」など神武天皇ゆかりの史跡が多く残っている場所です。毎年三月から四月には桜が咲き誇り、九月中旬頃には約三百万本の彼岸花が咲き誇ります。

また園内には自然の溪流を利用したニジマス釣りや一周一、二キロと長いゴーカート、子供が遊べる遊具、またコテージも完備しており大人から子供まで楽しめる空間となっております。



ACCESS：
宮崎県西諸県郡高原町大字蒲牟田 117
電話：0984-42-1007



高原古墳

高原町古墳は、皇子原の丘陵上にある円墳6基である。高原町全体を眺望できる好地に築造されており。発見後すぐに県指定史跡（1944年）昭和19年に指定されたため、発掘調査は行われていないが、西諸特有の地下式横穴墓とみられております。

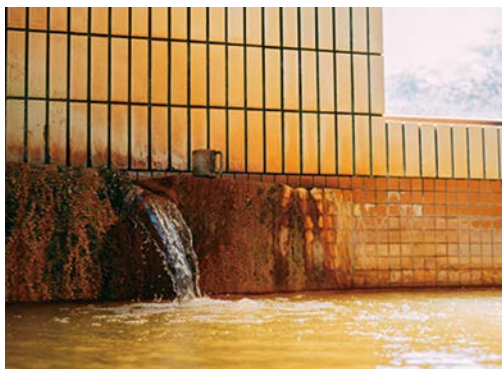


湯之元温泉

明治35年に創業された、町内で最も歴史のある温泉、高濃度炭酸泉を使用した炭酸温泉かけ流し風呂（ラムネ温泉）が人気です。また炭酸鉱泉で炊いた湯めしや湯飯天むすはもちもちとした触感でおススメです。

ACCESS：宮崎県西諸県郡高原町大字蒲牟田 7535 番地

電話：0984-42-3701



皇子原温泉健康村

大浴場、サウナ、超音波風呂などが完備された健康志向の温泉です、大人数が宿泊できる施設もあり団体客やスポーツ合宿にも最適です。ニジマスの養魚場も併設されており釣りも楽しめます。

ACCESS：宮崎県西諸県郡高原町大字蒲牟田 5631-14

電話：0984-42-1221



極楽温泉匠の宿

にごり湯100選にも選ばれていて、巨大な1枚岩をくりぬいた一彫石風呂や露天風呂、サウナ、炭酸鉱泉水風呂などが楽しめます。九州各地から厳選した食材を使った山河料理も人気のお店です。

ACCESS：宮崎県西諸県郡高原町大字蒲牟田 7449 番地

電話：0984-42-3326



御池の湯

家族温泉御池の湯温泉の歴史は長いが御池の湯自体去年の10月にリニューアルオープンしたばかりの家族湯です。人気の露天付き家族湯は内湯・露天・水風呂3つのお風呂があり、内湯はお客様ごとにお湯の張替／露天は31℃の源泉100%かけ流し／水風呂は18℃、夏はプール感覚でお子様にも好評の温泉です!! サウナ付きの家族湯も完備しており!サウナと美肌の湯で体の内と外から整います。

ACCESS：宮崎県西諸県郡高原町大字蒲牟田 7412-2

電話：0984-42-4088

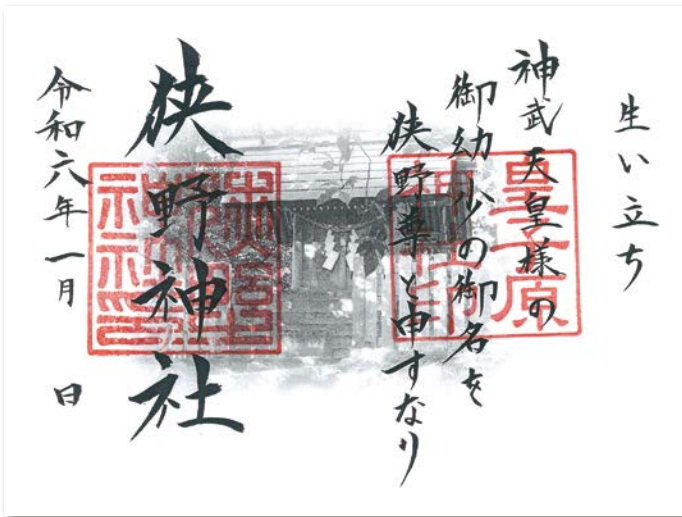


神社御朱印

霧島東神社
Kirishimahigashi shrine



狭野神社
Sano shrine



霞神社
Kasumi shrine



高原町観光協会

〒889-4412 宮崎県西諸県郡高原町大字西麓 473-6

TEL : 0984-42-4560 FAX : 0984-42-5655

E-mail : kankou-takaharu@btvm.ne.jp